

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 6 月 6 日(2022.6.6)

【公開番号】特開 2020-69002(P2020-69002A)

【公開日】令和 2 年 5 月 7 日(2020.5.7)

【年通号数】公開・登録公報 2020-018

【出願番号】特願 2018-204316(P2018-204316)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 5 月 27 日(2022.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域が形成された遊技盤と、

前記遊技領域を流下する遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、当該第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、

前記第 1 入球手段又は前記第 2 入球手段のいずれか一方への遊技球の入球に基づいて特別情報を取得する情報取得手段と、

前記情報取得手段により取得された特別情報を記憶可能な取得情報記憶手段と、

前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が所定の移行情報と対応しているか否かを判定する移行判定手段と、

30

前記移行判定手段による判定の結果が前記所定の移行情報に対応しているとする移行対応結果となったことに基づいて、遊技状態を遊技者に有利な特別遊技状態に移行させる遊技状態移行手段と、

遊技回用動作が開始されてから前記移行判定手段の判定結果に対応した報知結果となることで前記遊技回用動作が終了されることを遊技回の 1 回として、前記遊技回用動作が行われるように所定の報知手段を制御する遊技回制御手段と、

を備える遊技機であって、

表示部を有する表示手段と、

前記第 1 入球手段へ遊技球が入球したことに基いて前記表示部における所定領域にて第 1 特別演出を開始することが可能な第 1 手段と、

40

前記第 2 入球手段へ遊技球が入球したことに基いて前記表示部における前記所定領域にて第 2 特別演出を開始することが可能な第 2 手段と、

を有し、

前記第 2 手段は、前記所定領域にて前記第 1 特別演出が実行されていない状況下にて前記第 2 入球手段へ遊技球が入球したことに基いて当該所定領域にて前記第 2 特別演出を開始するようにすることが可能な手段を備え、

前記第 1 特別演出及び前記第 2 特別演出は、各特別演出の少なくとも一部が遊技者によって同様又は略同様であると認識されるように構成されていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第 1 入球手段への入球と前記第 2 入球手段への入球とが同時に発生した場合に、前記

50

第 1 特別演出及び前記第 2 特別演出のうち前記第 1 特別演出が実行されるようにすることが可能な手段を備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記第 2 特別演出の実行期間は、前記第 1 特別演出の実行期間よりも短くなるように構成されていることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記第 2 特別演出の実行中に遊技球が前記第 2 入球手段への入球が発生した場合に、当該第 2 特別演出の実行期間の経過を待つことなく当該第 2 特別演出から前記第 1 特別演出へ移行させることが可能な手段を有していることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 つに記載の遊技機。

10

【請求項 5】

前記所定領域にて一連の演出が実行されていると遊技者に認識されるようにして前記第 2 特別演出から前記第 1 特別演出へ移行させることが可能な手段を備えていることを特徴とする請求項 4 に記載の遊技機。

【請求項 6】

前記第 1 特別演出及び前記第 2 特別演出の少なくとも一部が遊技者によって同様又は略同様であると認識されるように構成される第 1 状態と、前記第 1 特別演出及び前記第 2 特別演出の少なくとも一部が遊技者によって同様又は略同様であると認識されないように構成される第 2 状態と、を有していることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 に記載の遊技機。

20

【請求項 7】

前記第 1 入球手段のほうが前記第 2 入球手段よりも前記遊技領域における上流側に配置されていることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、

30

遊技領域が形成された遊技盤と、

前記遊技領域を流下する遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、当該第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、

前記第 1 入球手段又は前記第 2 入球手段のいずれか一方への遊技球の入球に基づいて特別情報を取得する情報取得手段と、

前記情報取得手段により取得された特別情報を記憶可能な取得情報記憶手段と、

前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が所定の移行情報と対応しているか否かを判定する移行判定手段と、

前記移行判定手段による判定の結果が前記所定の移行情報に対応しているとする移行対応結果となったことに基づいて、遊技状態を遊技者に有利な特別遊技状態に移行させる遊技状態移行手段と、

40

遊技回用動作が開始されてから前記移行判定手段の判定結果に対応した報知結果となることで前記遊技回用動作が終了されることを遊技回の 1 回として、前記遊技回用動作が行われるように所定の報知手段を制御する遊技回制御手段と、

を備える遊技機であって、

表示部を有する表示手段と、

前記第 1 入球手段へ遊技球が入球したことに基づいて前記表示部における所定領域にて第 1 特別演出を開始することが可能な第 1 手段と、

前記第 2 入球手段へ遊技球が入球したことに基づいて前記表示部における前記所定領域にて第 2 特別演出を開始することが可能な第 2 手段と、

50

を有し、

前記第2手段は、前記所定領域にて前記第1特別演出が実行されていない状況下にて前記第2入球手段へ遊技球が入球したことに基づいて当該所定領域にて前記第2特別演出を開始するようにすることが可能な手段を備え、

前記第1特別演出及び前記第2特別演出は、各特別演出の少なくとも一部が遊技者によって同様又は略同様であると認識されるように構成されていることを特徴とする。

10

20

30

40

50